

CMX創発医学講演会

※ハイブリッドで開催

『樹状細胞によるCD4ヘルパーT細胞 分化制御のメカニズム』

日時：2026年7月14日(火)17:00~18:30

場所：A講義室（外来診療棟 4F）

講師：隈本 洋介 先生

Yosuke Kumamoto, Ph.D

Assistant Professor
Center for Immunity and Inflammation
Department of Pathology,
Immunology and Laboratory Medicine
Rutgers New Jersey Medical School



抗原によって活性化されたCD4T細胞は、Th1やTh2などのヘルパーT細胞へと分化することで免疫応答全体の特性を決める重要な役割を担っています。

すなわち、たとえ同一の抗原を認識するCD4T細胞であってもTh1細胞へ分化した場合はキラーCD8T細胞の活性化を促進し、一方Th2細胞へ分化した場合はB細胞によるIgEの産生を促すなど、ヘルパーT細胞の分化パターンによって全く異なるタイプの免疫応答が生じます。一般的にT細胞の活性化には樹状細胞による抗原提示が必要ですが、生体内に存在する樹状細胞は様々な種類(亜集団)に分化しており、特定のヘルパーT細胞の分化にはそれぞれ特定の樹状細胞亜集団が必要であることが知られています。我々のグループは、アレルゲンや寄生虫に対する免疫応答で重要となるTh2細胞の分化に必要な樹状細胞亜集団をマウスで同定し、その機能を研究してきました。

本講演では、CD4T細胞が様々な樹状細胞亜集団との相互作用を通して特定のヘルパーT細胞の運命を獲得する過程のメカニズムに関する我々の最近の研究成果をご紹介します。

隈本先生は2007年に東京大学の入村達郎先生の研究室でPh.D.を取得後、Yale大学医学部の岩崎明子先生の研究室に留学されました。2017年に米国Rutgers Universityで独立し、研究室を主宰されています。本講演では最新の研究成果に加え、米国の研究・生活や研究室運営についてもお話しいただく予定です。

Microsoft Teams URL:

<https://teams.microsoft.com/meet/48096797761940?p=g5YxMO38b11lo eSIGQ>

ミーティングID: 480 967 977 619 40 パスコード:5tR9xL63

【主催】メディカルトランスフォーメーション研究センター

【コーディネーター】恒常性生理学分野 教授 岡部 泰賢

※学外者のご参加については
下記連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】研究支援課研究企画係（内線:5189） E-mail : k9shien@med.kobe-u.ac.jp

※本講義は大学院講義(先端医学トピックス)を兼ねております